

事務事業名 交通事故被害者援護事業

出力日：令和04年03月15日

キーコード：72

施策：	08	くらしの安全対策の推進	財務コード	01020111-07-00
基本事業：	02	交通安全対策の推進	担当部	総務部
基本事業の 成果指標	交通ルールやマナーをまもっている市民の割合		担当課	危機管理課
			担当係	生活安全・防犯担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分			実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
福岡県交通遺児を支える会			福岡県交通遺児を支える会の活動に対して補助を行うもの。 【福岡県交通遺児を支える会の活動】 慰霊祭及び励ます会 レクリエーション 図書券贈呈（入学祝、クリスマス） プロ野球観戦 等						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
交通事故被害者（遺児）を励まし、交通事故のない明るい社会を創る。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	01年度 実績	02年度 実績	03年度 当初	04年度 要求	05年度 計画	06年度 計画	目標
交通遺児の数		人	12	12	10	10			
5. コスト									
事業費		計	千円	20	20	20	20		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他 一般	千円	0	0	0	0		
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.1				
正職員人件費		千円	807	803	792				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	827	823	812	20			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている  どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）		<状況>交通遺児の支援に繋がっている。 <原因>年間行事が充実しており、交通遺児の精神的な不安軽減に繋がっていると考えられる。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	基礎的事務事業	業務推進課題	なし						
成果向上余地	なし								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性		維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
交通遺児の精神的、経済的不安を軽減するための支援は、公共性が高く、行政が行う必要がある。									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）			備考・特記事項 or 進行管理欄						
交通事故遺家族の救済、福祉構成の援助等を目的に、福岡県交通事故被害者協会として県知事の認可（昭和44年12月）を受けた社団法人。その後、昭和49年福岡県交通事故被害者援護協会、平成13年福岡県交通遺児を支える会に名称変更。									